

施策番号	0203
施策名	すべての市民がいきいきと活動できる取組の推進
概要	すべての市民が、いきいきと活動できる場所と機会を提供するとともに、自分にあった働き方を見つめられ、安心した生活ができるよう、能力向上のための支援や経済的支援などの施策展開を図る。
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部
共管局・部室	
上位政策	2 人権・男女共同参画
施策に関係する 主な分野別計画等	

## 施策の評価

## 1. 客觀指標評価

指標名	26年度	27年度	28年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1 京都労働学校受講生の満足度(点)	b	b	4.1	4.1	5.0	82.0%	b	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	
	b	b	客観指標総合評価				b	

## 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度	27年度	28年度回答						
			そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと 言うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1 いきいきと活動して自分の能力を発揮する場所や自分に合った働き方を見つける機会がある。	d	c	20	85	201	105	68	479	c
			4. 2%	17. 7%	42. 0%	21. 9%	14. 2%		
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
			d	c	市民生活実感調査総合評価				

### 3 総合評価(客観指標総合評価 + 市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					27 年度	B		
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c				
(重み付けの理由)									
市民の実感は、国や府の施策を含めた雇用労働関係行政全般の影響を受けるものであるが、本施策はその一部である勤労者福祉施策であることから、客観指標総合評価を重視することとする。									
(原因分析) 客観指標総合評価									
<input checked="" type="checkbox"/> b 評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。									
<input type="checkbox"/> c 評価以下であり、次の原因が考えられる。									
・雇用情勢は改善傾向にあるとされる一方、雇用のミスマッチや非正規雇用などの課題があるため、自分の能力を発揮する場や自分に合った働き方を得る機会が必ずしも十分でないと感じている方が一定おられるものと考えられる。									
(原因分析)市民生活実感調査総合評価									
<input type="checkbox"/> b 評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。									
<input checked="" type="checkbox"/> c 評価以下であり、次の原因が考えられる。									
・雇用情勢は改善傾向にあるとされる一方、雇用のミスマッチや非正規雇用などの課題があるため、自分の能力を発揮する場や自分に合った働き方を得る機会が必ずしも十分でないと感じている方が一定おられるものと考えられる。									

#### 今後の方向性の検討

##### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	労働学校運営	29,152	29,236	良い	文化市民局
2	勤労者情報ホームページ運営	3,429	3,449	普通	文化市民局
3	労働者金融対策（融資制度）	5,638	95,638	普通	文化市民局
4	労働団体助成	2,658	2,658	良い	文化市民局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

\* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

##### <今後の方向性>

- ・京都労働学校において現在の社会情勢や勤労者のニーズに合った講座の実施に努めるとともに、京都 市・働く人の情報サイト「さわやかわーく」において勤労者や働く意欲を持つ方に有益な情報を発信し、引き続き、いきいきと活動できる場所や働き方を見つける機会の増加を図っていく。

施策名	0203	すべての市民がいきいきと活動できる取組の推進																																							
指標名	京都労働学校受講生の満足度(点)																																								
担当課	勤労福祉青少年課		連絡先	222-3089																																					
<b>1 指標の説明</b> 京都労働学校受講生へのアンケート調査の結果																																									
<b>2 指標の意味</b> 勤労者の教養と自覚を高めるための京都労働学校の講座等に関する満足度を示す指標		<b>3 算出方法・出典等</b> 算出方法：京都労働学校受講生へのアンケート調査結果 (5段階評価) 出典：事業担当課調べ																																							
<b>4 数値</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>前回数値</th> <th>最新数値</th> <th rowspan="2">推移</th> <th colspan="3">目標値</th> </tr> <tr> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>数値</th> <th>根拠</th> <th>達成度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td>4.1</td> <td>4.1</td> <td>増減なし</td> <td>5.0</td> <td>最高満足度</td> <td>82.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">全国順位</th> <th colspan="3">中長期目標</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>数値</th> <th>目標年次</th> <th>達成度</th> <th>根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								前回数値	最新数値	推移	目標値			26年度	27年度	数値	根拠	達成度	数値	4.1	4.1	増減なし	5.0	最高満足度	82.0%		全国順位	中長期目標			備考	数値	目標年次	達成度	根拠	数値					
	前回数値	最新数値	推移	目標値																																					
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度																																			
数値	4.1	4.1	増減なし	5.0	最高満足度	82.0%																																			
	全国順位	中長期目標			備考																																				
		数値	目標年次	達成度		根拠																																			
数値																																									
<b>5 評価基準</b> 最新数値の目標値に対する達成度が a : 90%以上 b : 80%以上90%未満 c : 70%以上80%未満 d : 60%以上70%未満 e : 60%未満			<b>6 基準説明</b> 最高満足度を目標とするため、90%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。				<b>7 評価結果</b> <table border="1"> <tr> <td>26</td> <td>27</td> <td><b>28</b></td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>b</td> <td><b>b</b></td> </tr> </table>			26	27	<b>28</b>	b	b	<b>b</b>																										
26	27	<b>28</b>																																							
b	b	<b>b</b>																																							